

歩、文音、紅葉が快挙達成！ 全日本女子組手団体戦3位

第49回全日本空手道選手権大会

令和3年12月11日（土）東京武道館



『チーム宮崎総力戦』



今年度は、コロナ対策により団体戦無観客での実施、日程も午前中女子、午後から男子と例年と違った流れでの開催となりました。さらに、競技開始も予定より10分早く始まり1回戦Bコート1試合目だったので慌ただしく競技が始まりました。宮崎県女子選手団は、新名紅葉（宮産大1年）・瀬戸口文音（同志社大4年）・八頭司歩（バルコム）の3名で試合に臨み、1・2回戦は奈良県・福島県と対戦で先鋒（新名）・中堅（瀬戸口）・大将（八頭司）で挑み、見事前2つで完勝し、3回戦へ進出しました。3回戦は監督の予想を超え、栃木県との対戦となり、来年度国体を迎える栃木県は昨年度全日本女子個人の優勝者でもある澤江優月選手がおり、大一番の勝負となりました。しかし、その栃木を2-1の総力戦で倒し、ベスト8入りを果たし、反対側から4連覇中の千葉県を倒した熊本県との対戦となりました。これまで毎回ベスト8で強豪県に苦渋を飲まされていましたが、他県も選手の入替わりにより勢力が若干変わりつつあるのを感じました。熊本との対戦では、またも前2つ先鋒（瀬戸口）・中堅（八頭司）で勝利し、念願のベスト4進出を果たしました。準決勝では、優勝した京都に惨敗をしましたが、ナショナルチームのメンバーで構成されている京都に堂々の試合内容であったと感じています。また、選手も試合に対する気持ちが前向きであり、当初より「メダルを持って帰ろう」と試合前から自分たちの口から出ていたこと、仲間を信じ合い励まし合えるチームワークが勝因だったと感じます。この宮崎



が念願の3位入賞を果たしてくれ今後の本県の励みになると思います。女子の頑張りを励みに「男子も常連のベスト8を超えます」と勢いをつけ迎えた男子団体戦は、政岡大雅（先鋒）・花車勇武（次鋒）・浜砂昭仁（中堅）・渡部優真（副将）・花車泰平（大将）で山口県との対戦でした。一進一退の攻防で大将戦までもつれましたが、3-2と惜敗

宮崎
県連
時報

（第150号）
編集兼発行
宮崎市佐土原町
下那珂1382-7
宮崎県空手道連盟
広報企画委員会
TEL/FAX 0985-73-7751

をしました。ベテランと若手で構成しているチームです。来年度は再度ベスト8入りを果たし、女子を超える成績を残せるよう男子に期待したいと思います。翌、12月12日(日)は昨年度改装された日本武道館にて、男女個人戦が行われました。女子は第46回大会準優勝・第47回大会3位の八頭司歩選手が1回戦久七海(大阪:ナショナルチーム)に勝ちましたが、2回戦でこれもナショナルチームに在籍する嶋田さらら(千葉)に2-0と惜敗を喫しました。男子は、花車泰平選手が愛知県の鈴木選手に4-0で破れました。男女とも一進一退の攻防で点数以上に内容の濃いハイレベルな戦いが展開されました。今回頑張ってくれた2名の代表選手には来年度も頑張ってもらいたいとともに、個人戦の代表を狙う若手の育成も課題であり、宮崎には期待できる新勢力がいることも確かです。今後もベテランと若手で刺激し合いながら、宮崎のために頑張ってもらいたいと願っています。また、今回全日本大会へエントリーしていない組手選手。チャンスは待っているとは思いますが、自分から積極的にアピールをして



て来年度は一緒に全日本を戦いましょう。来年度は新たに体重別の全日本も開催されます(6月予定)。県予選・体重別・九州大会・国体・全日本とハードな日程を戦い抜ける宮崎を強化しつつ、2027年に向けて頑張っていきたいと思います。

選手強化部部長 山本栄嗣

微笑四コマ漫画



私の話しは?



作者: 和Q

謹賀新年

新年明けましておめでとうございませう。今年もスタッフ一同、心を込めて時報を作っていきますので、愛読のほど何卒よろしくお願ひします。寅年がみなさんにとって素晴らしい年になりますようお祈りします。

2021 武道館大掃除

令和3年一番の最強寒波が襲来した12月18日、宮崎県武道協議会(会長佐藤彦空)主催の武道館大掃除がおこなわれました。空手道、柔道、剣道、弓道、銃剣道、古武道、なぎなた、相撲、少林寺拳法の9団体から133名が参加しました。冷たい風に吹かれながらの作業でしたが、綺麗になった武道館を見ると実に清々しい気持ちになりました。参加されたみなさんお疲れ様でした。

